



ブロック塀の撤去が完了した高槻市立城南中学校の現場

# 防災でガンバル 東京土建 地域の危険箇所を点検

6月18日に発生した大阪北部地震では高槻市の小学校のブロック塀が倒れ、小学生が下敷きになり死亡するという痛ましい事故が起きました。東京土建の各支部では現地視察やあらためてそれぞれの地域の危険箇所を点検するなど、今後の防災・減災に活かそうと早速活動しました。

## ブロック塀の撤去進む 西東京の高槻市視察に同行

【本部・松広高幸記】大阪北部地震は新たな地域活動の必要性を提起しました。小学校通学路のブロック塀点検行動を念頭に置いて西東京支部の大槻高槻市視察に同行しました。7月14日、日本共産党大阪府高槻市議会の中村、宮本、強田(きた)議員の説明と現地案内による日帰りの視察です。

高槻市内小中学校29校すべてのブロック塀の撤去を完了。今後の安全対策を進めるとしています。1970年代、人口増加率全国一位といわれた時期がある同市は、住宅建設がすすみました。その頃建設した建物への被害が多く、住民は高齢者が多いとのこと。また、約4割が山間部という地理的な特徴があります。擁壁の上のブロック塀が目立ちました。



危険な塀を点検 (西東京市内)



風速30メートルの暴風雨を体験 (本所防災館)

【中野・看板・山田種三通信員】7月26日、中野支部主催の防災研修会を初めて開催しました。午前中は東京ガス袖ヶ浦LNG基地を見学し、午後は本所防災館での学習となりました。

東京ガスでは、天然ガスをマイナース200℃近くまで冷却し液化して輸送すること、それを気化して供給していること、仮にタンクローリーが横転しても発火しない、など安心、安全なものであることを学びました。

## 中野 震度7の恐怖体験 防災研修会初めての実施

本所防災館では体験学習。模擬たとわかっていても恐怖がよぎる震度7。震度5感知でガスの供給が止まるメーターが普及した今、「地震だ!」

火を消せ!」の掛け声はすでに過去のもの。逆に熱した油などで火傷のリスクもあり、今はとにかく机の下で身を守り、体験などは、予想外の重さで驚かされた。成人男性が本気でかかっていたドアを開けられ、浸水高が30センチ。40センチではアキレス腱を切った人がいたようで、以来体験不可に。浸水被害の恐ろしさに触れた体験でした。

## 視察受け直ちに 議員、労組、本部と共に

西東京

【西東京・書記・石巻淳記】西東京支部は、7月29日、8月5日、2週に分かれて「小学校通学路タウンウォッチング」活動を行いました。今回の取り組みは、6月18日に発生した大阪北部地震により、大阪府高槻市の小学校のブロック塀崩壊で通学中の女子児童が亡くなるという痛ましい事故をうけ、7月14日に大阪府高槻市で現地視察を行い、急遽市内小学校周辺のブロック塀のタウンウォッチングを実施することになりました。

【板橋・書記・森千恵子記】7月30日、板橋支部では30人の参加で、防災タウンウォッチングを行いました。

## 板橋 助成の案内も投函 行政との懇談で報告

【板橋・書記・森千恵子記】7月30日、板橋支部では30人の参加で、防災タウンウォッチングを行いました。

地元町会やPTAへの協力の呼びかけに留まっています。ウォッチングをしてみると、学校の隣接部分にも老朽化したブロック塀がそのままになっているところが多く発見されました。危険なブロック塀のお宅には、「接道部緑地化助成」の案内チラシをポストに投函し、8月3日に行なわれた板橋区との懇談でも報告を行いました。また空き家が増えているブロック塀が崩れかけている大変危険な箇所もありました。隣の豊島区で始まった「空き家条例」の検討を合わせて要請しました。

## 通学路中心に調査 池袋地域は老朽化顕著

豊島

【豊島・書記・川合正人通信員】豊島支部では、区民から寄せられるブロック塀の修繕依頼の際に豊島区が実施する「ブロック塀等改善工事助成事業」を、依頼主が利用を希望した場合に備え補助対象の条件を明確にするべく、東京土建として



池袋地域で見られた危険なブロック塀

協力していくため建築課と懇談しました。区では民間の相談にまでは手が回らず、民間に頼ることは東京土建への協力を求めたいとの申し出を受けました。この経緯を受け、7月25日に区内の小学校通学路を主とした「タウンウォッチング」を実施しました。



板橋の活動では空き家が目立った

点検と民間のブロック塀点検を主に行いました。板橋区では、公共施設については一斉点検を行ない、緊急度の高い順に速やかに解体・補修工事に取り組みますが、民間については

## 詰将棋の解答

▲3四角△2一玉▲4三角成  
△3一玉▲2一金△4一玉▲  
5三桂△5一玉▲6一馬まで  
9手詰。